デプロイを自動化する 参考資料

目次

1 はじめに	.3
2 前提条件	.3
3 事前準備	.3
3.1. 更新する WAR のバージョンを確認する	. 3
4 SUBVERSION の HOOK スクリプトを実装する	.3
5 テストが完了した WAR ファイルをコミットする	.4
6 WAR ファイルが配置されている事を確認する	.6

1はじめに

本書は、war 形式の Web アプリケーションを Subversion にコミットした際に自動的に Web サーバ にデプロイする設定を行うための手順を記述している。デプロイの方法は新たに Web サーバ用のインスタンスを必要台数分起動し、ロードバランサの設定を変更することでデプロイを完了させる方法を想定している。

この手順における作業は全てデプロイサーバで行う。

2前提条件

- Puppet(+MCollective)による構築の自動化が実施された環境であること。
- 掲示板アプリケーションのスケールアウトが実施された環境であること。
- 更新対象の war ファイルが用意されていること。
- 404エラーが発生しない war の配布で作成するスクリプトが完成している事 ▶ それが、/root/work/deploy/task/graceful_deploy_war.sh に格納されている事

3事前準備

3.1.更新する war のバージョンを確認する

前回デプロイした war の次のバージョンをデプロイ対象とする。 本手順書は、「03」をデプロイ対象として記述する。

4Subversion の Hook スクリプトを実装する

リポジトリの Hook スクリプトディレクトリを参照する

deploy# Is -I /root/work/repos/keijiban/hooks

実行結果

```
total 44

-rw-r--r-- 1 root root 2022 Mar 19 05:47 post-commit.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 1663 Mar 19 05:47 post-lock.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 2344 Mar 19 05:47 post-revprop-change.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 1592 Mar 19 05:47 post-unlock.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 3510 Mar 19 05:47 pre-commit.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 2410 Mar 19 05:47 pre-lock.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 2818 Mar 19 05:47 pre-revprop-change.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 2100 Mar 19 05:47 pre-unlock.tmpl

-rw-r--r-- 1 root root 2852 Mar 19 05:47 start-commit.tmpl
```

post-commit をテンプレートからコピーする。

deploy# cd /root/work/deploy/task

deploy# cp /root/work/repos/keijiban/hooks/post-commit.tmpl post-commit

post-commit を実装する

deploy# vi post-commit

編集内容

(前略)

REP0S="\$1"

REV="\$2"

svn export svn+ssh://localhost/root/work/repos/keijiban/keijiban.war /var/tmp/
mco shellcmd --cmd="/root/work/deploy/task/graceful deploy war.sh >>

/var/log/post_commit.log &" -I /^deploy/

exit 0

ログファイルを作り、権限を変更する

deploy# touch /var/log/post_commit.log

deploy# chmod 666 /var/log/post_commit.log

実行権限を付与し、Subversion の Hook スクリプトディレクトリに配置する

deploy# cp post-commit /root/work/repos/keijiban/hooks/post-commit

deploy# chmod a+x /root/work/repos/keijiban/hooks/post-commit

5テストが完了した war ファイルをコミットする

Subversion をチェックアウトしたディレクトリに、更新対象の war ファイルをコピーする。

deploy# cd /var/tmp/keijiban/

deploy# cp -p /var/tmp/wars/03/keijiban.war keijiban.war

Subversion の状態を確認する。

deploy# cd /var/tmp/keijiban/

deploy# svn status

実行結果

M keijiban.war

Subversion の変更をコミットする。

deploy# svn commit -m '03'

実行結果

Sending keijiban.war Transmitting file data . Committed revision 4.

6war ファイルが配置されている事を確認する

Web サーバに war ファイルが配置されている事を確認する

deploy# mco shellcmd --cmd="ls -l /var/lib/tomcat6/webapps" -F fqdn=/^web/ -v

```
実行結果
```

```
[web. i-475C0824.nii.localdomain] exit=0:
total 14940
drwxr-xr-x 3 root
                               4096 Mar 8 10:03 ROOT
                    root
                               4096 Mar 25 08:55 keijiban
drwxr-xr-x 4 tomcat6 tomcat6
-rw-r--r-- 1 root
                    root 15266541 Mar 25 08:55 keijiban.war
[web. i-2AB005B5.nii.localdomain] exit=0:
total 14940
drwxr-xr-x 3 root
                               4096 Mar 8 10:03 ROOT
                    root
drwxr-xr-x 4 tomcat6 tomcat6 4096 Mar 25 08:55 keijiban
-rw-r--r-- 1 root root 15266541 Mar 25 08:55 keijiban.war
```